

公用車更新に見る「資産活用」の新たな視点

【総務課】



公用車（1号車）の更新提案と選定理由

更新対象： 12年経過・修理頻度増の1号車。リースではなく一括購入（下取り予定）

選定理由（執行部）： 大人数の移動、車内打合せ、大規模災害時の臨時執務スペースとしての機能（トヨタ・アルファード）

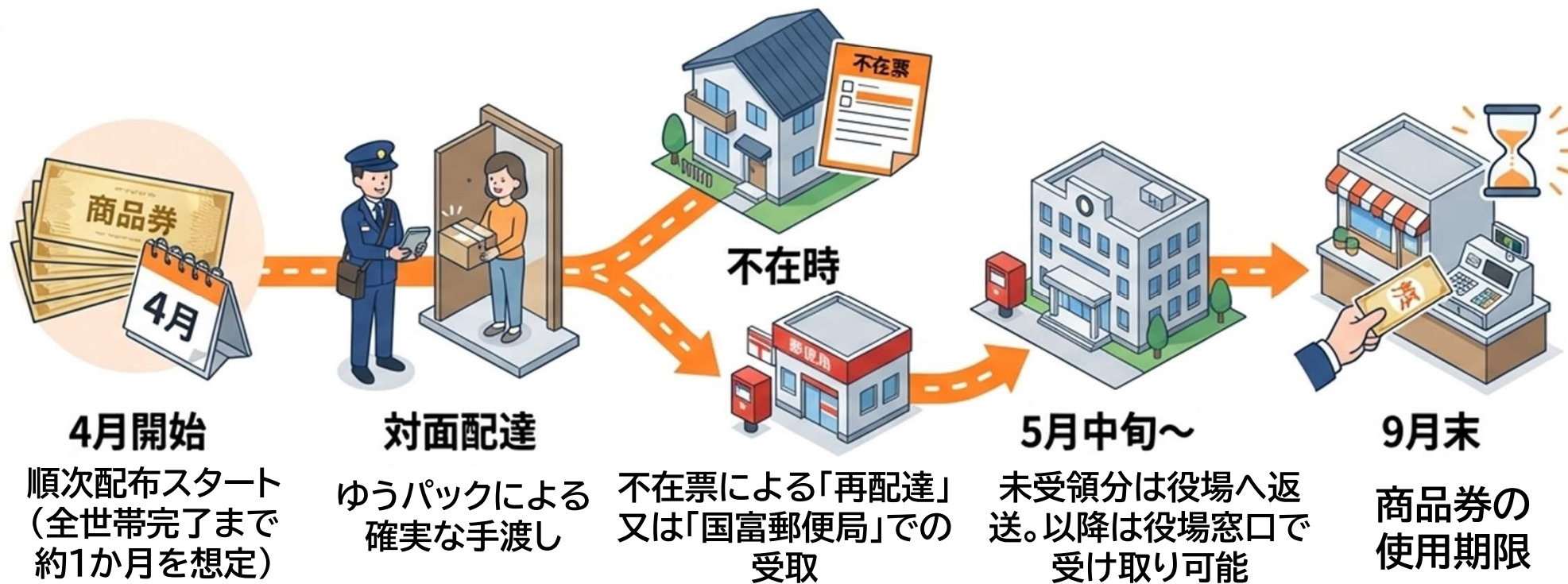


委員会からの新たな視点と提起

厳しい財政状況下、町民感情への配慮は不可避。更新の必要性は認めつつ、他自治体で実施されている土日祝日の「カーシェアリング」など、枠にとらわれない運用方法の検討を提起

物価高騰対応商品券:約9000世帯への配布経路

【総合戦略課】



！ 委員会要望： 膨大な業務となるが、地域経済の下支えに直結するため、丁寧な対応を要望

本町初・地域おこし協力隊の導入エコシステム

【総合戦略課】



1 プロへの委託(346万円&99万円)

採用実績ゼロを補うため、募集からお試し運営まで専門業者へ一貫委託

地域おこし協力隊 循環エコシステム



2 マッチング

PR・観光・農業・健康長寿など、町のニーズと都市部人材をマッチング



3 地域での活躍

町の特徴を活かした最前線での活動
(※特別交付税の対象事業)

4 定住・担い手化

丁寧な受け入れ態勢により、町のコア人材として定着



公園のポテンシャルを引き出す用地取得

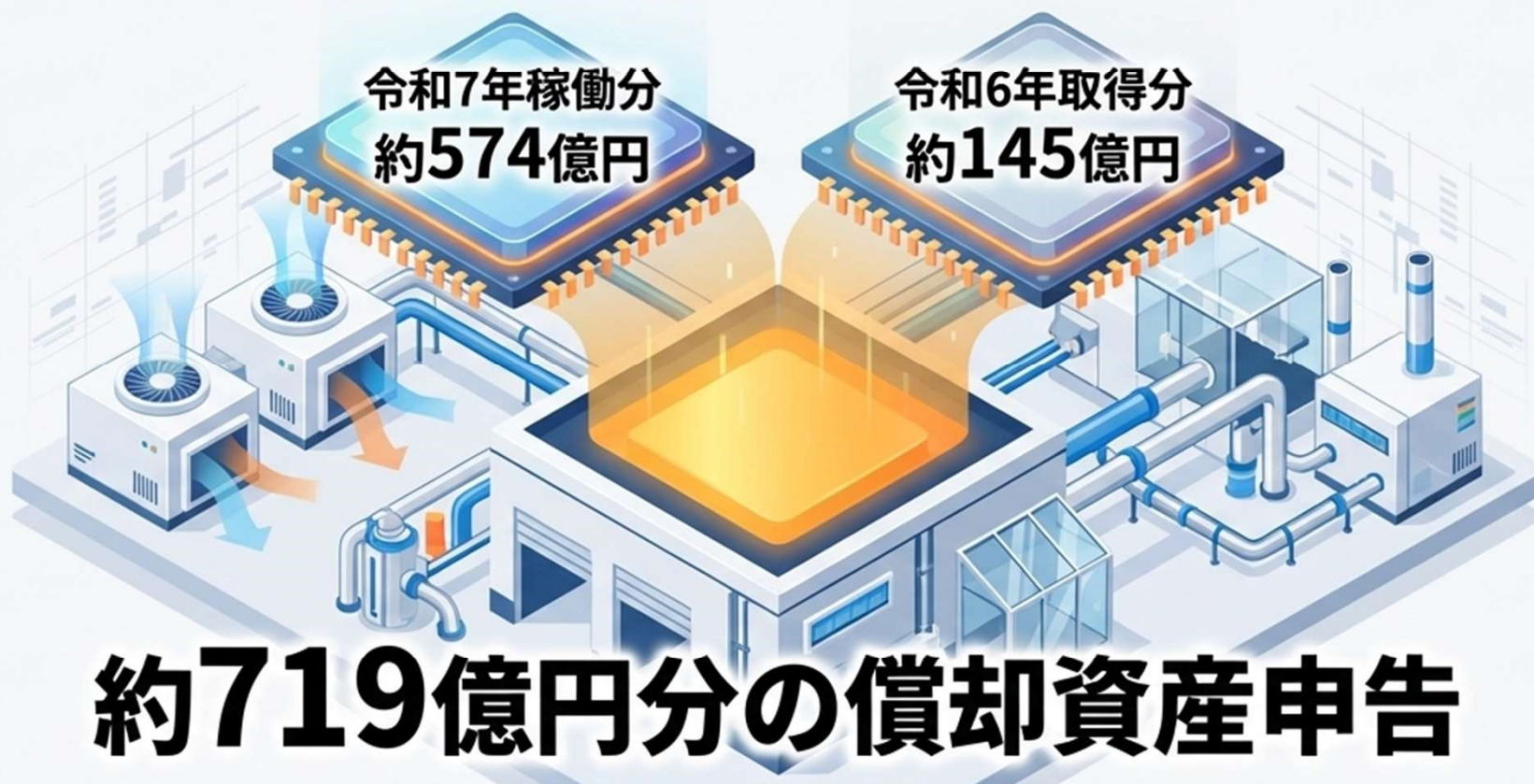
【財政課】



委員会要望: 法華嶽公園は国富町を代表する自然豊かな交流拠点。単なる駐車場整備にとどめず、イベントや体験型企画を掛け合わせ、人を惹きつける工夫を強く要望しました。

【税務課】

半導体産業による記録的な設備投資

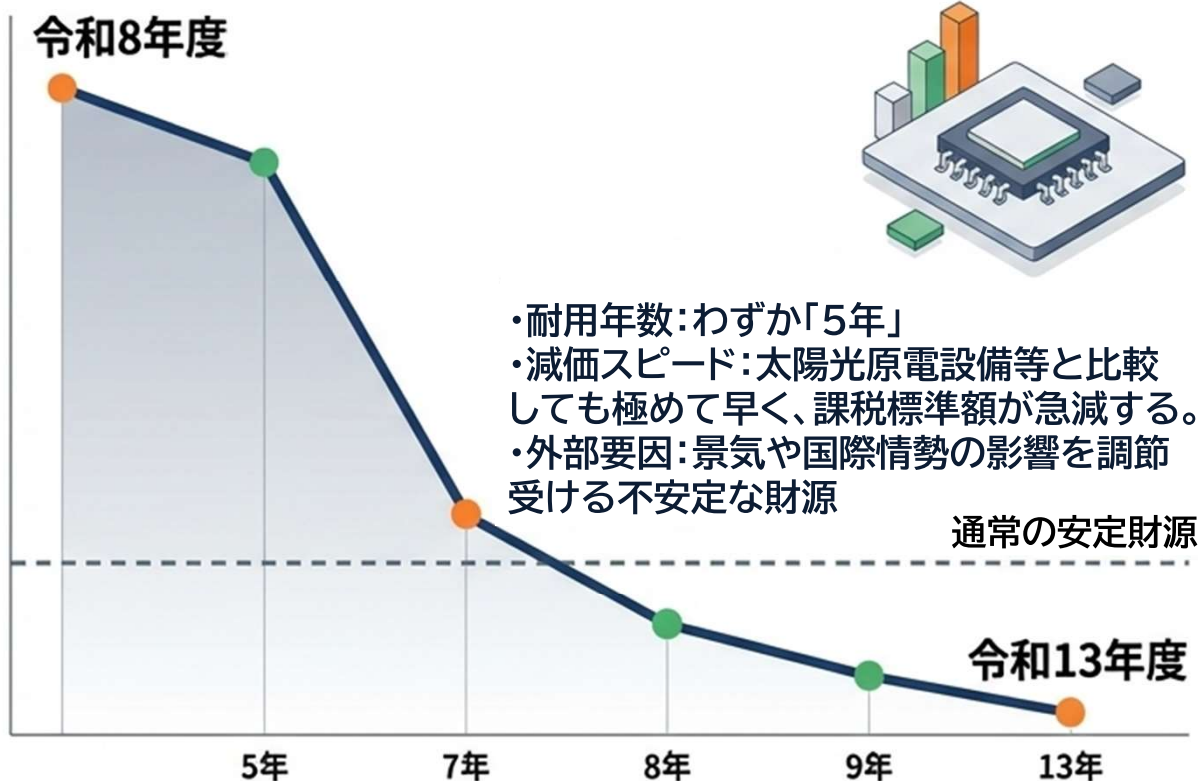


町内半導体製造業者による約719億円分(令和6年取得分:約145億円、令和7年稼働分:約574億円)の償却資産申告があり、固定資産税の増収を牽引。財政への大きな追い風となっている。

巨額税収の裏にある「5年」の壁

【税務課】

Semiconductor Tax Funnel and Steep Drop Curve



「過度な依存は危険」

委員会では、長期的に安定する財源ではないため楽観視せず、極めて慎重な財政運営を求めた。

子ども医療費助成の対象拡大(システム準備)

【福祉課】

これまで(R7まで)



対象年齢：
「中学生まで」



これから(R9から)



対象年齢：
「高校生まで」
に拡大予定

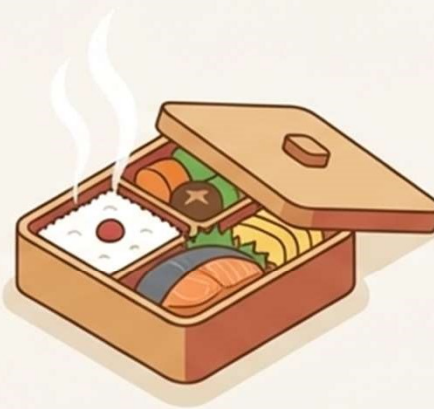
令和8年度は、この制度変更に対応するための「システム改修(132万円)」を実施。

委員会要望： 制度開始に向け、町民の皆さまへ分かりやすい周知徹底を強く要望した。





高齢者等配食サービスの運営モデル転換

R7まで－委託事業

主体：社会福祉協議会
(事業所からの
辞退申出により転換)



R8から－助成事業へ

-  窓口：国富町(福祉課)
-  仕組み：民間配食事業者の弁当1食につき「300円」を町が支援
-  上限：週5回(月～金)、1日1回
-  予算：735万3千円



委員会見解：配食は栄養確保だけでなく「見守り」の重要インフラとなる。民間活用へ移行しても、利用者が不安なく継続できる配慮と安定提供を求めた。

令和8年度 保険料の改定と新たな支援金制度



令和8年度 医療・介護保険料アップデート表

後期高齢者医療保険(2年ごとの見直し)		
1	基礎賦課額(所得割率)	10.08%
2	基礎賦課額(均等割率)	56,300円 (現行比+4,600円増)
3	[NEW] 子ども・子育て支援納付金	所得割率0.25%/均等割額1,356円

国民健康保険	
[NEW] 子ども・子育て支援納付金	1人当たり年間調定額見込み 約3,178円 (国試算の月額約250円水準 ※最終決定は6月)



今回の制度改正では、高齢者・現役世代が共に子育てを支える国の新制度が組み込まれています。

健康寿命を延ばす科学的アプローチの導入

【保健介護課】

シニア元気アップ運動教室 進化マトリクス




	R7「キララ」	R8「キララプラス」
予算	R7 -	1,045万円
予算ターゲット	認知症予防のみ	認知症予防+フレイル(虚弱)予防
連携機関	なし	宮崎大学医学部 
アプローチ	実践中心	参加前後の科学的な効果測定・分析を実施



委員会評価:単なる運動教室からの脱却を高く評価。大学との連携によるデータ検証を取り入れることで、本町の介護予防モデルをさらに発展させることを期待しています。

がん検診のアップデート：同日受信の実現



-  **課題:** 検査方法の違いから、これまでは同時実施が困難だった。
-  **解決策:** 検診バスを「2台」同時配置する新体制へ。
-  **実績:** 令和8年2月末時点で、すでに**640名**が同日受信を申し込み済

委員会の評価：住民の利便性が向上し、受診率のアップと業務効率化の双方を満たす優れた改善として評価。引き続き受信しやすい環境づくりを推進します。

爆発・火災を防ぐリチウム蓄電池の回収ロードマップ

【町民生活課】

リチウム蓄電池の安全回収ロードマップ



STEP1: 当面の緊急対応 (現在)

町民生活課の「窓口直接搬入」に限定。破損・膨張した電池の危険性を直接周知し、事故を防ぐ。



STEP2: アクセス網の拡大 (次段階)

危険性の周知が浸透した段階で、町内の量販店等へ協力を呼びかけ、複数箇所へ「回収ボックス」を設置



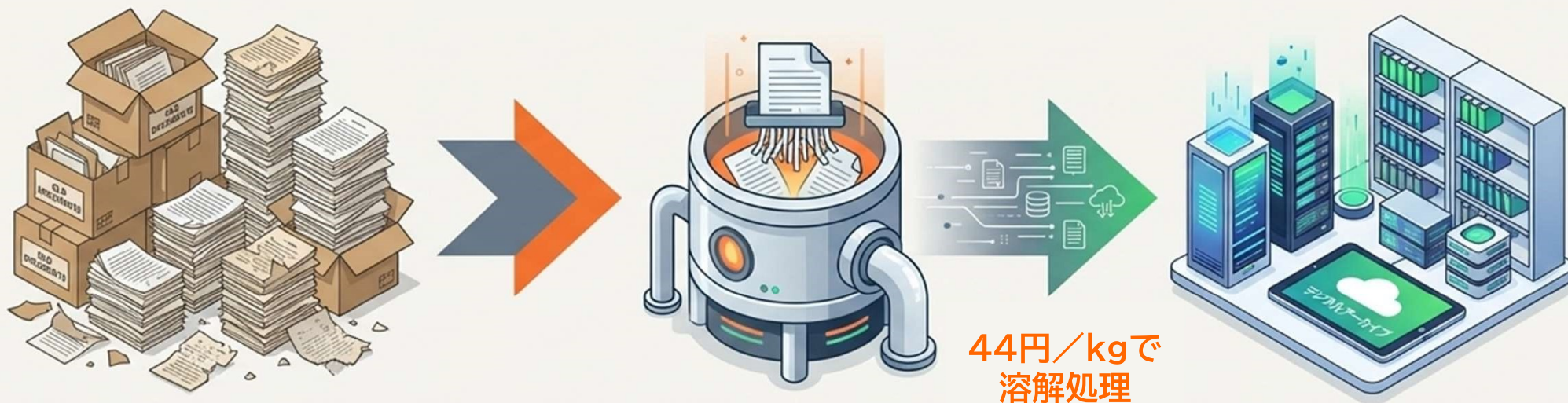
STEP3: 最終処理体制の 確立(最終段階)

回収した蓄電池を安全・適正に処理できる民間処理業者を選定し、持続可能な処理ルートを整備

10万円の廃棄費用から考える「文書管理」

【会計課】

文書管理の近代化プロセス



予算

10万円(廃棄物処理手数料)



内容

役場書庫の整理。2tダンプ1台分
(約1,750kg)



処理

1kg当たり44円で溶解処理(これ
で1年分の廃棄に対応)



委員会の評価: たかが10万円、されど10万円。単なるごみ捨てでなく、適正な「文書管理システム」を維持するための重要な投資です。計画的な書庫整理の継続を求めました。

一時的な追い風と、構造的な向かい風



半導体設備投資による巨額の増収（しかし、5年で急速に目減りする時限的財源）。



世界情勢の不安定化と物価高騰。
少子高齢化と社会保障費の容赦ない増大。

なぜ委員会は、巨額の増収に浮かれず、**公用車のカーシェアリング提案**や、**配食サービスの民間活用**、**書庫の1円単位の処理費**にまでこだわったのか？

それは、「**今の豊かな増収は永遠ではない**」からです。
持続可能な国富町を守るためには、一時的な追い風に頼らず、
徹底した「**行財政の効率化**」を今から根付かせる必要があります。

最小の経費で、最大の効果を。

子育て支援、高齢者福祉、地域活性化等令和8年度予算には、町民の皆様が暮らしに直結する数多くの施策が盛り込まれました。

私たち総務厚生常任委員会は、皆様からお預かりした大切な税金が「持続可能な国富町の未来」のために、1円の無駄もなく最大限の価値を生み出すよう、これからも厳しく、そして建設的に町政を審査してまいります。